

学修の成果に係る評価及び卒業又は修了認定基準

【通学課程】

1 成績評価方法

成績は絶対評価方式とする。

優、良、可、不可の4段階の評価区分であり、優、良、可を合格とする。

評価	得点数
優	100～80点
良	79～70点
可	69～60点
不可	59点

2 成績評価基準

主な成績評価基準は、学習内容の理解に関する試験評価、授業出席、学習態度などである。単位認定に必要な授業出席率は8割以上であり、授業出席率を満たし、かつ単位認定試験等に合格すると単位が認定される。

ただし、授業出席率が8割に満たない場合は、単位認定試験を受験することが出来ない。尚、各科目ごとの成績評価基準の詳細は、各科目のシラバスに記載。

3 卒業要件

(1) 卒業に必要な単位数は124単位以上。

(2) 科目の区分ごとの必要な単位数は以下の通り。

区分	卒業要件
共通科目	必修10単位を含めて、40単位以上を修得
専門基礎科目	必修16単位を含めて、40単位以上を修得
専門専攻科目	専攻するコース科目から必修科目2科目（4単位）を含む24単位以上、それ以外のコースから16単位以上修得
計	124単位以上を修得

【通信教育課程】

1 成績評価方法

成績は絶対評価方式とする。

優、良、可、不可の4段階の評価区分であり、優、良、可を合格とする。

評価	得点数
優	100～80点
良	79～70点
可	69～60点
不可	59点

2 成績評価基準

ア 主な成績基準評価

1	授業で扱った内容の代表的な概念・定義について理解しているか。
2	授業で扱った内容を偏ることなく、まんべんなく理解しているか。
3	レポート課題では自らの経験によるオリジナルな視点が含まれているか。
4	レポート課題では成功イメージが含まれているか。
5	複数回の試験を行う科目では、試験ごとに均等のポイント配分とする。学期を通じての継続的な努力が反映される方法とする。
6	単位取得の合格基準（優・良・可）のボーダーライン上にある者は、面接授業の受講態度を加味して評価する。

イ 授業形態ごとの成績評価基準

印刷教材による授業	レポート課題 60%、単位認定試験 40%
面接による授業	面接授業の出席率 60%、単位認定試験 40%
印刷教材と面接授業を組み合わせた授業	面接授業の出席率 30%、レポート課題 30%、単位認定試験 40%

3 卒業要件

(1) 卒業に必要な単位数は124単位以上であり、このうち30単位以上は、面接30時間による授業で修得すること。ただし、印刷教材と面接を組み合わせた授業については、面接授業30単位以上の中に含まれない。

(2) 科目の区分ごとの必要な単位数は以下の通り。

区分	卒業要件
共通科目	必修10単位を含めて、40単位以上を取得
専門基礎科目	必修8単位を含めて、40単位以上を取得
専門専攻科目	専攻するコース科目から24単位以上、それ以外のコースから16単位以上修得
計	124単位以上を取得